

経皮経肝門脈形成術の当院における成績

1. 研究の対象

2016 年 3 月～2023 年 4 月までに当院で門脈狭窄・閉塞に対して経皮経肝的門脈形成術(拡張術)を受けられた方

2. 研究目的・方法

2023 年 4 月までの、治療成功率、症状改善率、開存率、開存率に対する要因、有害事象等の治療成績を後ろ向きに調査し、解析することで、今後の患者様への治療成績の向上に役立てることを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：症状、使用機材（門脈ステント・バルーンカテーテル）の種類、側副路塞栓術の併用の有無、CT・MRI 画像による門脈狭窄・閉塞の状態、疾患、治療歴、血液データ、カルテ番号等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：大阪国際がんセンター 放射線診断・IVR 科 前田 登

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上